

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

The Magic of Rotary



第1688回例会 令和7年4月10日(木)

【会長の時間】

高田 富康

皆さん、こんにちは。桜は満開です。先日、児玉ロータリークラブとの合同例会ではお世話になりました。楽しかったです。

桜は温暖化で、最近は3月末くらいに満開の時が多くなっていますが、昭和40年代には今くらいが満開だったと思います。

今日は、本庄の春まつりが5月11日に行われます。その時のイベントの一つとして、2570地区が主催するクラシックカーの展示があります。ポリオ撲滅の募金をしながら、車を展示して、皆さんに見てもらおうと。今年は第2回になります。皆さんも古い車で5月11日に参加して頂ければと思います。

基本的には昭和の車が基本ですが、フェラーリ、ランボルギーニは年式を問わず、最新のものは、一番良いところに飾られるようです。昨年は今年度の柴崎ガバナー補佐も古いジャガーで参加して頂きました。知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ誘って来て頂ければと思います。当日は早めに来て頂くと渋滞に巻き込まれないと思います。

古い車を持っている方は、雨の日は乗らないという人も多いので、お天気に恵まれると良いなと考えています。

【幹事報告】

畝 徳治



1. 地区事務所より
 - ①月信4月号
 - ②ガバナーノミニージェグネートの公表
 - ③ノスタルジックカーフェスタの案内

4月	3	木	児玉RC合同例会	
	10	木	外部卓話	理事役員会
	17	木	休会	
	24	木	会員卓話	
5月	1	木	休会	
	8	木	会員卓話	理事役員会
	15	木	外部卓話	
	22	木	休会	
	29	木	荒川河川敷清掃(夜間例会)	養浩亭

外部卓話



小埜 和也会員

清水様にはお忙しいところ、お越しいただき、ありがとうございます。

私が旅館に来て、皆野長瀬地区の若手経営者の交流会がりそな銀行でありました。私は地元出身ではないので、お友達もいなくてという時期にそういった会に参加させて頂き、経営者仲間とか地元の二世、三世の方と交流を深めさせて頂いたのが、お付き合いの始まりです。

しばらく振りにお会いした時に清水理事長から新しい事業を始めているという話を伺いました。3月末にチョコレートのお店オープンの際にはお邪魔させて頂きました。内容についてのお話を聞く中で、感銘を受けましたので、ぜひロータリーでの卓話をお願いしました。よろしくお願い致します。

医療法人彩清会清水病院



理事長 清水 大貴様

今日は何をお話しようかと思っておいるのですが、このチョコレート屋さんは、障害福祉の事業として立ち上げております。チョコレートブランドとしても確立された久遠チョコレートという名前になっています。高島屋のバレンタインチョコレート

で売り上げナンバーワンを取っているようなブランドになっています。久遠、穏やかな時間が脈々と未来に向けて続いていくようにという思いが込められた久遠チョコレートです。

ここは障害者の方が働くお店になっています。なぜうちが福祉の事業をと気になると思います。父が亡くなって三代目理事長を引き受けました。一周忌が終わる頃に心にぽっかり穴が空きました。医者でない自分が医療法人の理事長をやるのかと悩みました。非医師理事長の役割はなんだろうと悩んでいました。そんな折りに全日本病院協会で毎年1回学会がありますが、東京で

の開催では 3,500 人くらい集まる学会ですが、そちらの企画で非医師理事長の役割についてという事について、話すようにというお話を頂きまして、喜んでお受けしますと。その事で自分が悩んでいた時期でしたが、これが切っ掛けになって、真剣に考える事が出来ました。その時に僕の役割、医者への役割はない。しかし、運営経営をする役割はあると。その時に自分は医者ではないが、うちが持っている機能、医療と介護において、秩父郡市内で問題があるのであれば、うちの機能を使って、その問題を解決していくのが僕の役割だと分かりました。地域の問題を解決していくために何が出来るのか。地域のお役に立つような舵を取るのが僕の役目だとはっきりしました。僕の生まれてきた意味、使命と考えた時に、周りを豊かに幸せにしていける事かなと。

そこから先は地域のお役に立てる事はやっついこうと変わりました、今までは病院協会の集まりなどで医師ではないという事で劣等感がありました。その劣等感は、自分の使命がはっきりした時に一気に無くなりました。役割の違いであり、医師であるかどうかは関係ないと感じました。

そのような時に地元の障害をお持ちの保護者の会、どんぐりの会から皆野長瀬には支援学校が終わってから預かってくれる所がないので、ぜひ清水病院さんにつくって欲しいというご依頼を頂きました。定例会に行き、話を聞く中で、順番で自分の方が子どもより先に亡くなる。障害を持っていると、なかなか食べていく事が出来ない。親としては、少しでも多くお金を残してあげたいという思いが全ての家庭から出ました。中にはこんな体に私が産んでしまったという自責の念に駆られているお母さんの声がすごくあり、そこで僕の役割が体に入った瞬間の直後だったので、うちでやりますとお約束をさせて頂きました。

そんな経緯で障害福祉の分野に入りました。障害福祉の分野で放課後等デイサービスという障害児の方の学童保育、そこで養育していくと、18才の高校卒業する事には健常者に持って行けるというデータもありまして、そこに一生懸命注力してやっています。

18才になるとそのサービスは利用出来なくなります。その後、障害をお持ちの方はどういう所を利用するのか調べると、就労継続支援B型という作業所に行くと分かりました。そこに行くと、取り敢えず食べていく事は出来るんだねという話をしたら、作業工賃は非常に安いという事実を知りました。厚労省のデータでは、全国平均で月額1万6千円でした。障害をお持ちの方は障害年金が月に年齢を問わず約7万くらい出ますが、併せても8万円ちょっと。生活どころか、趣味すら持てない。障害を持って生まれたが故に趣味も許されないという世の中ってどうなのだろうと。何とか障害を持っても食べていけるような仕組みが作れないかなと感じました。

それを切っ掛けに全国の作業工賃がもっと高額払えている所に視察に行ってみようとして全国に行きました。仙台のはらから福祉会さんが話し

ていたのは、うちは作業工賃の7万円を目指していると。普通の感覚だと、7万円は安いと考えますが、7万円と年金の7万円で14万円になります。これで高卒のお給料くらい水準に持って行ける。なぜ7万円のハードルが高いかというと、制度の仕組みにも問題があり、全ての生産活動、パン屋さん、工場の内職をもらっているような事業所もあります。それらの生産活動の売り上げから職員の人件費や家賃などの経費を引いた営業利益だけしか作業工賃に充ててはいけないんです。営業利益を相当上げていかないと作業工賃に反映出来ません。裏を返せば、営業利益は法人に1円も残してはいけないというルールではありません。作業工賃の7万円を20人作るには、毎月140万営業利益を作らなくてはならないんです。パン屋さんでは、その日に売り切らないと翌日は廃棄になりますので、ロスが出ます。そういった事からチョコレートは賞味期限は長く、パンのように高温で焼くという事はなく、高くても50度ですので、火傷の心配もありません。チョコレートの良い所は温め直せば、何度でもやり直せます。いいところ取りをしたのがチョコレートだと知り、チョコレートに惹かれました。

久遠チョコレートを知って、調べた時に「チョコレートの人々」という東海テレビのドキュメンタリー映画があります。今度の日曜日にMahora 稲穂山で皆野の有志で上映会を開いてくれる事になりましたので、見て頂ければと思います。またカンブリヤ宮殿でも紹介されました。

なぜメディアが来るかと言うと、作業工賃が安い中、作業工賃10倍計画という事で、久遠チョコレート本部としては、一部のサービス事業所、今回うちが始めたのは、就労継続支援B型ですが、本部はもっと重度の方が働いている生活介護というサービスもやっています。生活介護は、作業工賃はもっと低く、全国平均3千円くらいです。久遠本部は10倍以上の工賃を払えるような仕組みができあがっています。そういったものを秩父に持ってきたいと思い、代表のフェイスブックにダイレクトメッセージを送りました。返信はありませんでしたので、問い合わせホームからフランチイズに参加したいとメッセージを送ったところ、2、3日後に本部から連絡があり、ウェブで面接しましょうと連絡がありました。ウェブの面接でこれほど厳しい面接はないというほどの塩対応の面接でした。参加出来るか出来ないかという事よりも今まで僕がやってきた事、思いを伝えました。

久遠チョコレートに出会う前は農業から始めました。知識も経験もなかったのですが、机上では何も生まれてこないという事で、取り敢えず農協に行き、窓口で農業をやりたいと話をして、こういうふうにやっていきたいと話したところ、支店長さんから営農経済部に農業を指導してくれる人がいるからと紹介されました。そのような事で先生に付いて頂いて、農業を始めました。僕も業務に入る前、休みの日に畑仕事をやって、今年4年目になります。サツマイモとかも2、3千本の苗を植えまして、1、2トンの収穫をして、何とか販路が出来たりとか、今では学校給食でも使ってもらっています。

農業もやっていて、このようにやっていきたいと面談で伝えさせて頂いたら、秩父に行ってみますという事で、担当の方に秩父に来て頂きました。今の店舗も含め、何カ所か探していて、そこを見て頂きました。次に丸の内のオフィスに来て下さいという話を頂いて、2、3回通って、実際の経営の数字のお話をして、最終的に清水病院さんとだったらうまくやっていけそうだという事で、うちの方はOKですというお話を頂きました。

なぜそれほど厳しい面接だったかと言うと、久遠チョコレートにFCで参加したいという問い合わせが年間300件以上あるそうです。久遠チョコレートは、フランチイズ展開を積極的にやっています。思いを丁寧に作り上げて行く。障害福祉に対して、どんな思いでやっていくかを大事に育てて広げていきたいという企業ですから、年間の出店計画は全国で3店舗しかオープンさせない方針です。100分の1という事で、狭き門という事で、最初の面接でかなり振り落とす面接だったという事が分かりました。

このような経緯で何とか契約をする事が出来ました。契約をしてから大変で、店舗を実際に探してみると、建築基準法であったり消防法が絡んで来まして、特にうちの事業所は福祉事業所として店舗を登録したので、それは大変でした。200平米を越えると、用途変更、建築確認申請が必要になったりと問題がありました。地元の建築関係の方々等にお世話になりながら、許認可を頂く事が出来ました。

次に人の問題も大変で、未だに店長が定まらなかったのですが、やっと5月に店長が就任するという事になります。久遠チョコレートはプロのショコラティエを育成するのに1ヶ月の修行で育てます。場所は本部のある愛知県の豊橋と横浜です。秩父からですと通えません。2箇所です。2週間ずつなので、職員が泊まり込みで2名ずつ行って頂きました。女性の職員ですので、家庭があり、子供さんもいるという事で、行ける人を探すのも大変で、ようやく見つかって研修に出す事が出来ました。

帰ってきて、オープンするまでに職員を採用して、また2人から他の職員に作り方などを教えていきます。オープンに向けていろいろなプレッシャーが掛かります。オープン2週間前に管理者をやっていて、研修に行った1人が退職しました。なかなか店長も定まらずで、プレッシャーがすごいです。そういった所で、僕らもサポートしながらやっていきますが、いろいろな心配が増幅してきます。店長がやっと定まりという事で、これから落ち着いてくるかなという思います。

今回オープンに向けて、SNSの活用は効果があったと実感しています。Instagramも担当者も最初はどのような事を発信したらいいか皆目見当が付きませんでした。会議を騒ぎながらやっていったら、いろいろな企画が挙がってきました。今オープンまでにフォロワー1千人を目標にしてきました。グランドオープンの

時に1,300人くらいで、今日現在1,800人ほどになってきました。データによると、売り上げが起動に乗ってくるのと、フォロワー数は比例するようで、フォロワーが2,500人になってくると、売り上げも安定してくるようになっていくようです。うちも2,500人まで1,200人をどうやって増やしていこうかと取り組んでいます。昔では、考えられなかったマーケティングの技術、知識をSNSが軽く越えてくる事を体感して、すごい世の中になってきたなと感じています。

僕らは、ここでチョコレートを作るのですが、それだけではありません。これだけは忘れないで欲しいと言っているのは、チョコレートの向こう側の世界をつくりに行こうと言っています。チョコレートの向こう側にある世界、障害があっても食べていける仕組みをつくる。チョコレートをつくり、販売し、美味しいと食べて頂いて、リピーターを集める。障害があっても食べていける仕組みを作る。そのためにやっていくという事なんだという事を常に思って頂きながら、みんなで楽しく仕事をして、来たお客様に喜んで、楽しんで帰って頂けるように、そんなお店づくりをしていこうという事でやっております。

障害があると趣味の一つも持てない。そんな世の中を何とか変えていきたいという思いでいます。チョコレートの売り上げで得る営業利益は、すべて障害者の作業工賃に充てられる事業になっております。今日お集まりの皆様にもご協力頂けたらと思います。



出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
8	0	5	0	62.5%

